安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	07-5038-0	**版**	1.01
発行日	2025/02/12	**前発行日**	2024/10/07

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
Scotch-Weld™ EC-1945 B/A Metal Primer KIT

３M ストックナンバー
62-2628-6401-0　　62-2628-6440-8　　62-2628-7401-9

7000021286　　7000028566

会社情報

供給者	スリーエムジャパン株式会社（輸入者・製造者 スリーエムジャパンイノベーション株式会社）
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	自動車産業システム事業部　航空機マーケット営業部
電話番号	ナビダイヤル　0570-011-511　受付時間/８：４５～１７：１５　月～金（土・日・祝日は除く）

本製品は個々に包装された複数の構成品からなるキット製品である。SDSには個々の構成品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。　この製品を構成する製品のSDS番号は：

07-5032-3, 07-5036-4

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、毒劇物取締法等の法令の定めるところに従う。

キット：コンポーネント 情報修正.
セクション１：供給者名 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合

わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	07-5032-3	**版**	1.01
発行日	2025/02/12	**前発行日**	2024/10/07

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
Scotch-Weld™ EC-1945 メタルプライマー (Part A)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
2液プライマー用反応促進剤

1.3. 会社情報

供給者	スリーエムジャパン株式会社（輸入者・製造者 スリーエムジャパンイノベーション株式会社）
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	自動車産業システム事業部　航空機マーケット営業部
電話番号	ナビダイヤル　0570-011-511　受付時間/８：４５～１７：１５　月～金（土・日・祝日は除く）

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分２
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分１
皮膚腐食性/刺激性： 区分２
皮膚感作性： 区分１
生殖毒性：区分１
発がん性： 区分２
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分１
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分３
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分２
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分３

GHSラベル要素

注意喚起語
危険

シンボル
炎　腐食性　感嘆符　健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H318	重篤な眼の損傷
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H360	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H351	発がんのおそれの疑い
H370	臓器の障害： 感覚器。
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 神経系。
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 感覚器。
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。

P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

製品の粘度により、誤えん有害性の区分は適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
キシレン異性体	1330-20-7	35
イソプロピルアルコール	67-63-0	31
メチルエチルケトン	78-93-3	29
エチルベンゼン	100-41-4	7.5
オルガノシランエステル	1760-24-3	<= 5.0
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	1.3
トルエン	108-88-3	0.50

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。 中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。 標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。 長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照す

る。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。　区域から退避させること。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　新鮮な空気でその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　金属製の容器に収納する。　洗剤と水で残さを清浄にする。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　静電気放電に対する予防措置を講ずること。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。　指定された個人保護具を使用する。　着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電気的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。　輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考

エチルベンゼン	100-41-4	ACGIH	TWA：20 ppm	A3: 動物発がん性物質, 耳毒性物質
エチルベンゼン	100-41-4	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
エチルベンゼン	100-41-4	JSOH OELs	TWA(8 時間):87 mg/m3(20 ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。（皮膚）
トルエン	108-88-3	ACGIH	TWA：20 ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質。耳毒性物質。
トルエン	108-88-3	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
トルエン	108-88-3	JSOH OELs	TWA（８時間）：188 mg/m3(50 ppm)	皮膚
キシレン異性体	1330-20-7	ACGIH	TWA：20 ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
キシレン異性体	1330-20-7	ISHL	TLV（８時間）：50 ppm	
キシレン異性体	1330-20-7	JSOH OELs	TWA（８時間）：217 mg/m3(50 ppm)	
イソプロピルアルコール	67-63-0	ACGIH	TWA：200ppm、STEL：400ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
イソプロピルアルコール	67-63-0	ISHL	TLV（８時間）：200 ppm	
イソプロピルアルコール	67-63-0	JSOH OELs	CEIL：980 mg/m3(400 ppm)	
メチルエチルケトン	78-93-3	ACGIH	TWA:75 ppm;STEL:150 ppm	皮膚吸収の危険性。
メチルエチルケトン	78-93-3	ISHL	TLV（８時間）：200 ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	JSOH OELs	TWA（８時間）：590 mg/m3(200 ppm)	

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA：American Industrial Hygiene Association
ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値)：労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度
TWA：時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。　防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
全面マスク
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形の有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	黄色
臭い	強い溶剤臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>=80 °C
引火点	-8.9 °C［*試験方法：クローズドカップ法*］［*詳細：*MEK］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	引火性液体： 区分２
燃焼点（下限）	0.9 容量%
燃焼点（上限）	12.1 容量%
蒸気圧	<=12,132.3 Pa［試験条件： 25 °C ］
相対蒸気密度	>=2.1 ［*参照基準：*空気＝１］
密度	0.84 g/ml
比重	0.84 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	適用しない。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	>=404 °C［*詳細：*MEK］
分解温度	*データはない。*
動粘度	21 mm2/sec

揮発性有機化合物	798 g/l [*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS－GHSの要求項目ではない)	798 g/l [*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値]
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質
未確定

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
吸入すると有害のおそれ　気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合
皮膚刺激：　発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

飲み込んだ場合
飲み込むと、健康障害を起こすことがある。　胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
聴覚への影響：　聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りなどの症状。　中枢神経機能の抑制：　頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

長時間又は反復暴露した場合：
眼に対する影響：　ぼやけたり、重大な視力障害などの症状。　聴覚への影響：　聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りなどの症状。　嗅覚への影響： 嗅覚能力の低下もしくは嗅覚の完全な消失などの症状。　神経への影響：性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。　吸入作用：症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

発がん性
発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値 >20 - =50 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
イソプロピルアルコール	皮膚	ウサギ	LD50　12,870 mg/kg
イソプロピルアルコール	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50　72.6 mg/l
イソプロピルアルコール	経口摂取	ラット	LD50　4,710 mg/kg

キシレン異性体	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,200 mg/kg
キシレン異性体	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 29 mg/l
キシレン異性体	経口摂取	ラット	LD50 3,523 mg/kg
メチルエチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 8,050 mg/kg
メチルエチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 34.5 mg/l
メチルエチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 2,737 mg/kg
エチルベンゼン	皮膚	ウサギ	LD50 15,433 mg/kg
エチルベンゼン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 17.4 mg/l
エチルベンゼン	経口摂取	ラット	LD50 4,769 mg/kg
オルガノシランエステル	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
オルガノシランエステル	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 >1.49, <2.44 mg/l
オルガノシランエステル	経口摂取	ラット	LD50 1,897 mg/kg
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	皮膚	ラット	LD50 1,280 mg/kg
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	経口摂取	ラット	LD50 1,000 mg/kg
トルエン	皮膚	ラット	LD50 12,000 mg/kg
トルエン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 30 mg/l
トルエン	経口摂取	ラット	LD50 5,550 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	多種類の動物種	刺激性なし
キシレン異性体	ウサギ	軽度の刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	わずかな刺激
エチルベンゼン	ウサギ	軽度の刺激
オルガノシランエステル	ウサギ	軽度の刺激
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	ウサギ	腐食性
トルエン	ウサギ	刺激物

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	ウサギ	激しい刺激
キシレン異性体	ウサギ	軽度の刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	激しい刺激
エチルベンゼン	ウサギ	中程度の刺激
オルガノシランエステル	ウサギ	腐食性
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	ウサギ	腐食性
トルエン	ウサギ	中程度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	モルモット	区分に該当しない。

エチルベンゼン	ヒト	区分に該当しない。
オルガノシランエステル	多種類の動物種	感作性あり
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	モルモット	区分に該当しない。
トルエン	モルモット	区分に該当しない。

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	In vitro	変異原性なし
イソプロピルアルコール	In vivo	変異原性なし
キシレン異性体	In vitro	変異原性なし
キシレン異性体	In vivo	変異原性なし
メチルエチルケトン	In vitro	変異原性なし
エチルベンゼン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
オルガノシランエステル	In vitro	変異原性なし
オルガノシランエステル	In vivo	変異原性なし
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	In vitro	変異原性なし
トルエン	In vitro	変異原性なし
トルエン	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
イソプロピルアルコール	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
キシレン異性体	皮膚	ラット	発がん性なし
キシレン異性体	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
キシレン異性体	吸入した場合	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルエチルケトン	吸入した場合	ヒト	発がん性なし
エチルベンゼン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
トルエン	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
トルエン	吸入した場合	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	2 世代
イソプロピルアルコール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2 世代

イソプロピルアルコール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	器官発生期
イソプロピルアルコール	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 9 mg/l	妊娠期間中
キシレン異性体	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
キシレン異性体	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 入手できない	器官発生期
キシレン異性体	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	妊娠期間中
メチルエチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 8.8 mg/l	妊娠期間中
エチルベンゼン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4.3 mg/l	交配前および妊娠中。
オルガノシランエステル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	授乳期早期交配
オルガノシランエステル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	28 日
オルガノシランエステル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	妊娠期間中
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	2 世代
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 50 mg/kg/日	2 世代
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 15 mg/kg/日	妊娠期間中
トルエン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
トルエン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.3 mg/l	1 世代
トルエン	経口摂取	発生機能に有毒	ラット	LOAEL 520 mg/kg/日	妊娠期間中
トルエン	吸入した場合	発生機能に有毒	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時

授乳に対するまたは授乳を介した影響

名称	経路	生物種	値又は判定結果
キシレン異性体	経口摂取	マウス	乳汁を介した影響および授乳による影響区分に該当しない。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
イソプロピルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
イソプロピルアルコール	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 13.4 mg/l	24 時間
イソプロピルアルコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
キシレン異性体	吸入した場合	聴覚系	臓器への影響	ラット	LOAEL 6.3 mg/l	8 時間
キシレン異性体	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
キシレン異性体	吸入した	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類に	ヒト	NOAEL 入手	

	場合		は不十分。		できない	
キシレン異性体	吸入した場合	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.5 mg/l	入手できない
キシレン異性体	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン異性体	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン異性体	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 250 mg/kg	適用しない。
メチルエチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	適用しない。
メチルエチルケトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1,080 mg/kg	適用しない。
エチルベンゼン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
エチルベンゼン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
エチルベンゼン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
オルガノシランエステル	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
トルエン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
トルエン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
トルエン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 0.004 mg/l	3 時間
トルエン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
イソプロピルアルコール	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 12.3 mg/l	24 月
イソプロピルアルコール	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 12 mg/l	13 週
イソプロピルアルコール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/day	12 週
キシレン異性体	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.4 mg/l	4 週
キシレン異性体	吸入した場合	聴覚系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 7.8 mg/l	5 日
キシレン異性体	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	

キシレン異性体	吸入した場合	心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 造血器系 | 筋肉 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン異性体	経口摂取	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	2 週
キシレン異性体	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,500 mg/kg/day	90 日
キシレン異性体	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン異性体	経口摂取	心臓 | 皮膚 | 内分泌系 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 免疫システム | 神経系 | 呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/day	103 週
メチルエチルケトン	皮膚	神経系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	31 週
メチルエチルケトン	吸入した場合	肝臓 | 腎臓および膀胱 | 心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 免疫システム | 筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	7 日
メチルエチルケトン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 173 mg/kg/day	90 日
エチルベンゼン	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.4 mg/l	28 日
エチルベンゼン	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	5 日
エチルベンゼン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3.3 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 筋肉	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.2 mg/l	90 日
エチルベンゼン	吸入した場合	心臓 | 免疫システム | 呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	経口摂取	肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 680 mg/kg/day	6 月
オルガノシランエステル	皮膚	皮膚 | 内分泌系 | 造血器系 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,545 mg/kg/day	11 日
オルガノシランエステル	吸入した場合	呼吸器系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 0.015 mg/l	90 日
オルガノシランエステル	吸入した場合	造血器系 | 眼 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.044 mg/l	90 日
オルガノシランエステ	経口摂取	造血器系 | 神経	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500	28 日

ル		系			mg/kg/day	
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	皮膚	皮膚	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 25 mg/kg/day	4 週
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	皮膚	肝臓 | 神経系 | 聴覚系 | 造血器系 | 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 125 mg/kg/day	4 週
トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	経口摂取	心臓 | 内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 筋肉 | 神経系 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系 | 脈管系 | 聴覚系 | 皮膚 | 消化管 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 免疫システム | 眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/day	90 日
トルエン	吸入した場合	聴覚系 | 神経系 | 眼 | 嗅覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	中毒ないし乱用時
トルエン	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 2.3 mg/l	15 月
トルエン	吸入した場合	心臓 | 肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	4 週
トルエン	吸入した場合	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 入手できない	20 日
トルエン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	8 週
トルエン	吸入した場合	造血器系 | 脈管系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
トルエン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 11.3 mg/l	15 週
トルエン	経口摂取	神経系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
トルエン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 600 mg/kg/day	14 日
トルエン	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 105 mg/kg/day	28 日
トルエン	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 105 mg/kg/day	4 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
キシレン異性体	誤えん有害性
エチルベンゼン	誤えん有害性
トルエン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分２：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分３：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
オルガノシランエステル	1760-24-3	バクテリア	実験	16 時間	EC50	67 mg/l
オルガノシランエステル	1760-24-3	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	168 mg/l
オルガノシランエステル	1760-24-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	8.8 mg/l
オルガノシランエステル	1760-24-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	81 mg/l
オルガノシランエステル	1760-24-3	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	3.1 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	液状化	実験	49 時間	EC50	130 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	大西洋トウゴロイワシ	実験	96 時間	LC50	5.1 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	緑藻類	実験	96 時間	EC50	3.6 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	アミ	実験	96 時間	LC50	2.6 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	4.2 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.8 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.96 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,050 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>1,000 mg/l

イソプロピルアルコール	67-63-0	無脊椎動物	実験	24 時間	LC50	>10,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	メダカ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1,000 mg/l
イソプロピルアルコール	67-63-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	2,993 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	2,029 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	308 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	1,289 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,150 mg/l
トルエン	108-88-3	ギンザケ	実験	96 時間	LC50	5.5 mg/l
トルエン	108-88-3	テナガエビ	実験	96 時間	LC50	9.5 mg/l
トルエン	108-88-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	12.5 mg/l
トルエン	108-88-3	トノサマガエル	実験	9 日	LC50	0.39 mg/l
トルエン	108-88-3	カラフトマス	実験	96 時間	LC50	6.41 mg/l
トルエン	108-88-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.78 mg/l
トルエン	108-88-3	ギンザケ	実験	40 日	NOEC	1.39 mg/l
トルエン	108-88-3	珪藻	実験	72 時間	NOEC	10 mg/l
トルエン	108-88-3	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.74 mg/l
トルエン	108-88-3	液状化	実験	12 時間	IC50	292 mg/l
トルエン	108-88-3	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	29 mg/l
トルエン	108-88-3	バクテリア	実験	24 時間	EC50	84 mg/l
トルエン	108-88-3	シマミミズ	実験	28 日	LC50	>150 mg/kg(体重)
トルエン	108-88-3	土壌微生物	実験	28 日	NOEC	<26 mg/kg（乾燥重量）
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	該当なし	実験	96 時間	LC50	718 mg/l
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フ	90-72-2	鯉	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l

ェノール						
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	46.7 mg/l
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	6.44 mg/l
キシレン異性体	1330-20-7	液状化	推定値	3 時間	NOEC	157 mg/l
キシレン異性体	1330-20-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	4.36 mg/l
キシレン異性体	1330-20-7	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2.6 mg/l
キシレン異性体	1330-20-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	3.82 mg/l
キシレン異性体	1330-20-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.44 mg/l
キシレン異性体	1330-20-7	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.96 mg/l
キシレン異性体	1330-20-7	ニジマス	実験	56 日	NOEC	>1.3 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
オルガノシランエステル	1760-24-3	実験 生分解性	28 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	39 DOC除去%	EC C.4.A. DOC Die-Away試験
オルガノシランエステル	1760-24-3	実験 加水分解		加水分解性半減期（pH7）	1.5 分（t 1/2)	
エチルベンゼン	100-41-4	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	70-80 CO2発生量/理論CO2発生量%	ISO 14593 生分解性試験法（ヘッドスペースCO2試験）
エチルベンゼン	100-41-4	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	4.26 日（t 1/2)	
イソプロピルアルコール	67-63-0	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	86 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法

トルエン	108-88-3	実験 生分解性	20 日	生物学的酸素要求量	80 %BOD/ThOD	APHA標準試験水/排水
トルエン	108-88-3	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	5.2 日 (t 1/2)	
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	4 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
キシレン異性体	1330-20-7	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90-98 %BOD/ThOD	OECD 301F
キシレン異性体	1330-20-7	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	1.4 日 (t 1/2)	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
オルガノシランエステル	1760-24-3	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エチルベンゼン	100-41-4	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	1	
イソプロピルアルコール	67-63-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.05	
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.3	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
トルエン	108-88-3	実験 BCFーその他	72 時間	生物濃縮係数	90	
トルエン	108-88-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.73	
トリス（2,4,6-ジメチルアミノモノメチル）フェノール	90-72-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.66	830.7550 Part.Coef Shake Flask
キシレン異性体	1330-20-7	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	25.9	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： １９９３ その他の引火性液体

輸送分類（IMO）: 3　引火性液体

輸送分類（IATA）: 3　引火性液体

容器等級：Ⅱ

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
地方労働局長宛て通達　エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害の防止について　昭和57年6月8日基発第339号
化管法：第１種指定化学物質
消防法：第四類第一石油類
船舶安全法、航空法：引火性液体類
労働安全衛生法：施行令別表第一　危険物

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
エチルベンゼン	エチルベンゼン	該当	該当	該当
イソプロピルアルコール	イソプロピルアルコール	該当	該当	該当
メチルエチルケトン	メチルエチルケトン	該当	該当	該当
トルエン	トルエン	該当	該当	該当

トリス (2,4,6-ジメチルアミノモノメチル) フェノール	2,4,6-トリス(ジメチルアミノメチル)フェノール	適用しない	該当	該当
キシレン異性体	キシレン	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
エチルベンゼン	エチルベンゼン	53	第1種指定化学物質
トルエン	トルエン	300	第1種指定化学物質
キシレン異性体	キシレン	80	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報
セクション１：供給者名 情報修正.
セクション２：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2025, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	07-5036-4	**版**	1.01
発行日	2025/02/12	**前発行日**	2024/10/07

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
Scotch-Weld™ EC-1945 メタルプライマー (Part B)

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
プライマー

1.3. 会社情報
供給者 スリーエムジャパン株式会社（輸入者・製造者 スリーエムジャパンイノベーション株式会社）
所在地 本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門 自動車産業システム事業部　航空機マーケット営業部
電話番号 ナビダイヤル　0570-011-511　受付時間/８：４５～１７：１５　月～金（土・日・祝日は除く）

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分２
急性毒性（経口）： 区分４
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分２Ａ
皮膚感作性： 区分１
生殖毒性： 区分２
発がん性： 区分１
生殖細胞変異原性： 区分２
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分１
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分３
特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分１
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分１

GHSラベル要素
注意喚起語
危険

シンボル
炎　感嘆符　健康有害性　環境

ピクトグラム



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H302	飲み込むと有害
H319	強い眼刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H336	眠気又はめまいのおそれ
H361	生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
H350	発がんのおそれ
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い
H370	臓器の障害： 腎臓。 感覚器。
H371	臓器の障害のおそれ： 呼吸器
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 神経系。 呼吸器
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 腎臓。 呼吸器 感覚器。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。

P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P330	口をすすぐこと。
P301 + P312	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。
P391	漏出物を回収すること。

保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

製品の粘度により、誤えん有害性の区分は適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
タルク	14807-96-6	10 - 25
酢酸ブチル	123-86-4	20

クロム酸カルシウム	13765-19-0	15
CI ピグメントイエロー 53	8007-18-9	13
酸化チタン(IV)	13463-67-7	13
メチルエチルケトン	78-93-3	12
メチルイソブチルケトン	108-10-1	11
キシレン	1330-20-7	9.5
ブチルアルコール	71-36-3	6.7
エチルベンゼン	100-41-4	1.8
結晶性シリカ	14808-60-7	0.55

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

気道を刺激する（咳、くしゃみ、鼻汁、頭痛、嗄声、鼻や喉の痛み）。 アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。 中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。 標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。 長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中

消火作業者の保護
水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。　火災が激しく、本品の熱分解が起こる可能性がある場合は、ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。　区域から退避させること。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　新鮮な空気でその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。　大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　金属製の容器に収納する。　洗剤と水で残さを清浄にする。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　静電気放電に対する予防措置を講ずること。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。　静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。　指定された個人保護具を使用する。　着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電気的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。　輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
エチルベンゼン	100-41-4	ACGIH	TWA：20 ppm	A3: 動物発がん性物質, 耳毒性物質
エチルベンゼン	100-41-4	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
エチルベンゼン	100-41-4	JSOH OELs	TWA(8 時間):87 mg/m3(20 ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。（皮膚）
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ACGIH	TWA：20ppm、STEL：75ppm	A3: 動物発がん性物質
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ISHL	TLV（８時間）：20 ppm	
メチルイソブチルケトン	108-10-1	JSOH OELs	TWA(8 hours):205 mg/m3(50 ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
酢酸ブチル	123-86-4	ACGIH	TWA:50 ppm;STEL:150 ppm	
酢酸ブチル	123-86-4	ISHL	TLV（８時間）：150 ppm	
酢酸ブチル	123-86-4	JSOH OELs	TWA（８時間）：475 mg/m3(100 ppm)	
キシレン	1330-20-7	ACGIH	TWA：20 ppm	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
キシレン	1330-20-7	ISHL	TLV（８時間）：50 ppm	
キシレン	1330-20-7	JSOH OELs	TWA（８時間）：217 mg/m3(50 ppm)	
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ACGIH	vTWA(吸入性ナノ粒子):0.2 mg/m3;TWA(吸入性微粒子):2.5 mg/m3	A3: 動物発がん性物質
酸化チタン(IV)	13463-67-7	JSOH OELs	TWA(チタンとして、総粉じんとして)(8 時間):2 mg/m3;TWA(チタンとして、吸引性粉じんとして)(8時間):1.5 mg/m3;TWA(8 時間):0.3 mg/m3;TWA（提案)(8 時間):0.3 mg/m3	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
クロム酸塩	13765-19-0	ISHL	TLV(Crとして)(8時間):0.05mg/m3	
クロム（六価化合物）	13765-19-0	ACGIH	TWA(クロム(VI)、吸入性分画として):0.0002	A1：ヒトで発がん性が確認された物質

			mg/m3;STEL(クロム(VI)、吸入性分画として):0.0005 mg/m3	
クロム（六価化合物）	13765-19-0	JSOH OELs	TWA（クロムとして）（８時間）： 0.05 mg/m3	皮膚感作性。呼吸器感作性のおそれ。
重クロム酸塩	13765-19-0	ISHL	TLV(Crとして)(8時間):0.05mg/m3	
不活性あるいは有害なダスト	14807-96-6	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m3;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m3	
タルク	14807-96-6	ACGIH	TWA（吸入性分画）：2 mg/m3	A4：ヒトに対する発がん性物質として分類できない物質
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	限界値は未設定	1：ヒトに対して発がん性がある。
タルク	14807-96-6	JSOH OELs	TWA（推奨)(8時間):4 mg/m3	
結晶性シリカ	14808-60-7	ACGIH	TWA（吸入性分画）： 0.025 mg/m3	A2:ヒトに対して発がん性が疑われる物質
結晶性シリカ（吸入性粉塵）	14808-60-7	JSOH OELs	TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):0.03 mg/m3;CEIL(吸入性粉じんとして):0.03 mg/m3	1：ヒトに対して発がん性がある。
ブチルアルコール	71-36-3	ACGIH	TWA：20 ppm	
ブチルアルコール	71-36-3	ISHL	TLV（８時間）：25 ppm	
ブチルアルコール	71-36-3	JSOH OELs	CEIL：150 mg/m3（50 ppm）	皮膚
メチルエチルケトン	78-93-3	ACGIH	TWA:75 ppm;STEL:150 ppm	皮膚吸収の危険性。
メチルエチルケトン	78-93-3	ISHL	TLV（８時間）：200 ppm	
メチルエチルケトン	78-93-3	JSOH OELs	TWA（８時間）：590 mg/m3(200 ppm)	
アンチモン化合物	8007-18-9	ACGIH	TWA（アンチモンとして）：0.5 mg/m3	
アンチモン化合物、スチビンを除く	8007-18-9	JSOH OELs	TWA（アンチモンとして）（８時間）：0.1 mg/m3	
ニッケル化合物（ニッケルカルボニルを除く）	8007-18-9	ISHL	TLV（ニッケルとして）（８時間）：0.1mg/m3	
ニッケル、不溶性無機化合物。	8007-18-9	ACGIH	TWA（ニッケルとして、吸入性分画）：0.2 mg/m3	A1：ヒトで発がん性が確認された物質

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策
空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。　防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。
サイドシールド付安全メガネ
間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。
推奨される手袋の材質： 樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。　ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。 ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク
半面形もしくは全面形面体の送気マスク(エアラインマスク)

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
色	緑色
臭い	わずかに溶剤臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	>=118 °C
引火点	15.6 °C［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	引火性液体： 区分２
燃焼点（下限）	0.9 容量%
燃焼点（上限）	10 容量%
蒸気圧	<=2,133.2 Pa［試験条件： 20 °C ］

相対蒸気密度	>=3.5 ［*参照基準：*空気＝１］
密度	1.31 g/ml
比重	1.31 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	中程度
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	420 mm2/sec
揮発性有機化合物	524 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	524 g/l［*試験方法：* SCAQMD rule 443.1 での計算値］
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質
未確定

危険有害な分解物

物質	**条件**
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは

製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
吸入すると有害のおそれ　気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合
軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

眼に入った場合
眼への激しい刺激： 発赤、腫脹、痛み、催涙、角膜の曇り、視力障害などの症状。

飲み込んだ場合
飲み込むと有害　胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。　その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露
聴覚への影響：　聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りなどの症状。　中枢神経機能の抑制：　頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。　吸入作用：症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。　腎臓・膀胱への影響： 尿量の変化、下腹部又は腰の痛み、尿中蛋白の増加、血中尿素窒素の増加、血尿、排尿痛などの症状。

長時間又は反復暴露した場合：
珪肺症： 切迫呼吸、持続性のせきなどの症状。　塵肺症：　持続性のせき、無呼吸、胸痛、喀痰増加、肺機能検査結果の変化などの症状。　聴覚への影響：　聴覚障害、平衡機能異常及び耳鳴りなどの症状。　神経への影響： 性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。　吸入作用：症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。　腎臓・膀胱への影響： 尿量の変化、下腹部又は腰の痛み、尿中蛋白の増加、血中尿素窒素の増加、血尿、排尿痛などの症状。

生殖毒性
出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

遺伝子毒性
遺伝子毒性・変異原性：遺伝子と相互作用を起こし、遺伝子発現を変化させる可能性がある。

発がん性
発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値 >20 - =50 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >300 - =2,000 mg/kg
酢酸ブチル	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
酢酸ブチル	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 1.4 mg/l
酢酸ブチル	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 20 mg/l
酢酸ブチル	経口摂取	ラット	LD50 > 8,800 mg/kg
メチルエチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 8,050 mg/kg
メチルエチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 34.5 mg/l
メチルエチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 2,737 mg/kg
タルク	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
タルク	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
CI ピグメントイエロー 53	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
クロム酸カルシウム	経口摂取	ラット	LD50 327 mg/kg
CI ピグメントイエロー 53	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
酸化チタン(IV)	吸入－粉塵/ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
酸化チタン(IV)	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
メチルイソブチルケトン	皮膚	ウサギ	LD50 > 16,000 mg/kg
メチルイソブチルケトン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 11 mg/l
メチルイソブチルケトン	経口摂取	ラット	LD50 3,038 mg/kg
ブチルアルコール	皮膚	ウサギ	LD50 3,402 mg/kg
ブチルアルコール	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 24 mg/l
ブチルアルコール	経口摂取	ラット	LD50 2,290 mg/kg
キシレン	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,200 mg/kg
キシレン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 29 mg/l
キシレン	経口摂取	ラット	LD50 3,523 mg/kg
エチルベンゼン	皮膚	ウサギ	LD50 15,433 mg/kg
エチルベンゼン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 17.4 mg/l
エチルベンゼン	経口摂取	ラット	LD50 4,769 mg/kg
結晶性シリカ	皮膚		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg
結晶性シリカ	経口摂取		LD50 推定値＞ 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酢酸ブチル	ウサギ	わずかな刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	わずかな刺激
クロム酸カルシウム	専門家による判断	軽度の刺激
CI ピグメントイエロー 53	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
タルク	ウサギ	刺激性なし
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
ブチルアルコール	ウサギ	軽度の刺激
キシレン	ウサギ	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	軽度の刺激
結晶性シリカ	専門家による判断	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
酢酸ブチル	ウサギ	中程度の刺激
メチルエチルケトン	ウサギ	激しい刺激
クロム酸カルシウム	専門家による判断	中程度の刺激
CI ピグメントイエロー 53	ウサギ	刺激性なし
酸化チタン(IV)	ウサギ	刺激性なし
タルク	ウサギ	刺激性なし
メチルイソブチルケトン	ウサギ	軽度の刺激
ブチルアルコール	ウサギ	激しい刺激
キシレン	ウサギ	軽度の刺激
エチルベンゼン	ウサギ	中程度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
酢酸ブチル	多種類の動物種	区分に該当しない。
クロム酸カルシウム	類似化合物	感作性あり
CI ピグメントイエロー 53	類似化合物	区分に該当しない。
酸化チタン(IV)	ヒト及び動物	区分に該当しない。
メチルイソブチルケトン	モルモット	区分に該当しない。
ブチルアルコール	ヒト	区分に該当しない。
エチルベンゼン	ヒト	区分に該当しない。

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
タルク	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果

酢酸ブチル	In vitro	変異原性なし
メチルエチルケトン	In vitro	変異原性なし
クロム酸カルシウム	In vivo	変異原性
CI ピグメントイエロー 53	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vitro	変異原性なし
酸化チタン(IV)	In vivo	変異原性なし
タルク	In vitro	変異原性なし
タルク	In vivo	変異原性なし
メチルイソブチルケトン	In vitro	変異原性なし
ブチルアルコール	In vivo	変異原性なし
ブチルアルコール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
キシレン	In vitro	変異原性なし
キシレン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vivo	変異原性なし
エチルベンゼン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
結晶性シリカ	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
メチルエチルケトン	吸入した場合	ヒト	発がん性なし
クロム酸カルシウム	特段の規定はない。	類似化合物	発がん性
CI ピグメントイエロー 53	特段の規定はない。	類似化合物	陽性データはあるが、分類には不十分。
酸化チタン(IV)	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
酸化チタン(IV)	吸入した場合	ラット	発がん性
タルク	吸入した場合	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
キシレン	皮膚	ラット	発がん性なし
キシレン	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
キシレン	吸入した場合	ヒト	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチルベンゼン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性
結晶性シリカ	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酢酸ブチル	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 7.1 mg/l	交配前および妊娠中。

酢酸ブチル	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 7.1 mg/l	交配前および妊娠中。
メチルエチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	LOAEL 8.8 mg/l	妊娠期間中
クロム酸カルシウム	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	類似化合物	NOAEL 入手できない	
クロム酸カルシウム	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	類似化合物	NOAEL 入手できない	
クロム酸カルシウム	経口摂取	発生機能に有毒	類似化合物	NOAEL 入手できない	
CI ピグメントイエロー 53	経口摂取	生殖・発生毒性の区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	妊娠期間中
CI ピグメントイエロー 53	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	妊娠期から授乳期
CI ピグメントイエロー 53	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	46 日
タルク	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,600 mg/kg	器官発生期
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 8.2 mg/l	2 世代
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12.3 mg/l	器官発生期
ブチルアルコール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
ブチルアルコール	吸入した場合	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/l	6 週
ブチルアルコール	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10.6 mg/l	妊娠期間中
キシレン	吸入した場合	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
キシレン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 入手できない	器官発生期
キシレン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	妊娠期間中
エチルベンゼン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4.3 mg/l	交配前および妊娠中。

授乳に対するまたは授乳を介した影響

名称	経路	生物種	値又は判定結果
キシレン	経口摂取	マウス	乳汁を介した影響および授乳による影響区分に該当しない。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酢酸ブチル	吸入した場合	呼吸器系	臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 2.6 mg/l	4 時間
酢酸ブチル	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	入手できない
酢酸ブチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	入手できない
酢酸ブチル	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家	NOAEL 入手	

				による判断	できない	
メチルエチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	適用しない。
メチルエチルケトン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1,080 mg/kg	適用しない。
クロム酸カルシウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似化合物	NOAEL 入手できない	
クロム酸カルシウム	経口摂取	腎臓および膀胱	臓器への影響	類似化合物	NOAEL 入手できない	
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	LOAEL 0.1 mg/l	2 時間
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	脈管系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 入手できない	入手できない
メチルイソブチルケトン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ラット	LOAEL 900 mg/kg	適用しない。
ブチルアルコール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
ブチルアルコール	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	公的な分類	NOAEL 入手できない	
ブチルアルコール	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
キシレン	吸入した場合	聴覚系	臓器への影響	ラット	LOAEL 6.3 mg/l	8 時間
キシレン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
キシレン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 入手できない	
キシレン	吸入した場合	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.5 mg/l	入手できない
キシレン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン	経口摂取	眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 250 mg/kg	適用しない。
エチルベンゼン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 入手できない	
エチルベンゼン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト及び動物	NOAEL 入手できない	
エチルベンゼン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
酢酸ブチル	吸入した場合	嗅覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	14 週

酢酸ブチル	吸入した場合	肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 7.26 mg/l	13 日
メチルエチルケトン	皮膚	神経系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	31 週
メチルエチルケトン	吸入した場合	肝臓 | 腎臓および膀胱 | 心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 免疫システム | 筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 14.7 mg/l	90 日
メチルエチルケトン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 入手できない	7 日
メチルエチルケトン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 173 mg/kg/day	90 日
クロム酸カルシウム	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	類似化合物	NOAEL 入手できない	
クロム酸カルシウム	経口摂取	腎臓および膀胱	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	類似化合物	NOAEL 入手できない	
CI ピグメントイエロー 53	経口摂取	心臓 | 内分泌系 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 骨髄 | 造血器系 | 肝臓 | 免疫システム | 筋肉 | 神経系 | 眼 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系 | 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 450 mg/kg/day	90 日
酸化チタン(IV)	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
酸化チタン(IV)	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
タルク	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
タルク	吸入した場合	肺線維症 | 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 18 mg/m3	113 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.8 mg/l	2 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.4 mg/l	90 日
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.1 mg/l	14 週
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	内分泌系 | 造血器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	90 日
メチルイソブチルケトン	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.41 mg/l	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	内分泌系 | 造血器系 | 肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
メチルイソブチルケトン	経口摂取	心臓 | 免疫システム | 筋肉 | 神経系 | 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,040 mg/kg/day	120 日
ブチルアルコール	吸入した	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.3	3 月

	場合				mg/l	
ブチルアルコール	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく
ブチルアルコール	吸入した場合	肝臓 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 入手できない	3 月
ブチルアルコール	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 9.09 mg/l	13 週
ブチルアルコール	経口摂取	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	13 週
キシレン	吸入した場合	神経系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.4 mg/l	4 週
キシレン	吸入した場合	聴覚系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	ラット	LOAEL 7.8 mg/l	5 日
キシレン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン	吸入した場合	心臓 | 内分泌系 | 消化管 | 造血器系 | 筋肉 | 腎臓および膀胱 | 呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.5 mg/l	13 週
キシレン	経口摂取	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 900 mg/kg/day	2 週
キシレン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,500 mg/kg/day	90 日
キシレン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 入手できない	
キシレン	経口摂取	心臓 | 皮膚 | 内分泌系 | 骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 造血器系 | 免疫システム | 神経系 | 呼吸器系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/day	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 1.1 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 1.1 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.4 mg/l	28 日
エチルベンゼン	吸入した場合	聴覚系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	5 日
エチルベンゼン	吸入した場合	内分泌系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 3.3 mg/l	103 週
エチルベンゼン	吸入した場合	消化管	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	吸入した場合	骨、歯、爪及び/又は毛髪 | 筋肉	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 4.2 mg/l	90 日
エチルベンゼン	吸入した場合	心臓 | 免疫システム | 呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 3.3 mg/l	2 年
エチルベンゼン	経口摂取	肝臓 | 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 680 mg/kg/day	6 月
結晶性シリカ	吸入した場合	珪肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 入手できない	職業性被ばく

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
メチルイソブチルケトン	陽性データはあるが、分類には不十分。
ブチルアルコール	陽性データはあるが、分類には不十分。
キシレン	誤えん有害性
エチルベンゼン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分１：水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
ＧＨＳ水生環境有害性 長期（慢性）区分１：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
タルク	14807-96-6	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ブチルアルコール	71-36-3	カイアシ類	実験	96 時間	LC50	1,900 mg/l
ブチルアルコール	71-36-3	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	1,376 mg/l
ブチルアルコール	71-36-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	225 mg/l
ブチルアルコール	71-36-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1,328 mg/l
ブチルアルコール	71-36-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	134 mg/l
ブチルアルコール	71-36-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	4.1 mg/l
ブチルアルコール	71-36-3	バクテリア	実験	17 時間	EC50	4,390 mg/l
クロム酸カル	13765-19-0	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	10.2 mg/l

シウム						
クロム酸カルシウム	13765-19-0	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.06 mg/l
CI ピグメントイエロー 53	8007-18-9	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
CI ピグメントイエロー 53	8007-18-9	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
CI ピグメントイエロー 53	8007-18-9	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
CI ピグメントイエロー 53	8007-18-9	ミジンコ	実験	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
CI ピグメントイエロー 53	8007-18-9	バクテリア	実験	30 分	EC50	>10,000 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	液状化	実験	49 時間	EC50	130 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	大西洋トウゴロイワシ	実験	96 時間	LC50	5.1 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	緑藻類	実験	96 時間	EC50	3.6 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	アミ	実験	96 時間	LC50	2.6 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	4.2 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.8 mg/l
エチルベンゼン	100-41-4	ミジンコ	実験	7 日	NOEC	0.96 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ファットヘッドミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	2,993 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC50	2,029 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	308 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	緑藻類	実験	96 時間	ErC10	1,289 mg/l
メチルエチルケトン	78-93-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
メチルエチル	78-93-3	バクテリア	実験	16 時間	LOEC	1,150 mg/l

ケトン						
メチルイソブチルケトン	108-10-1	緑藻類	実験	96 時間	EC50	400 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>200 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>179 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	32 日	NOEC	56.2 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	78 mg/l
メチルイソブチルケトン	108-10-1	液状化	実験	30 分	EC50	>1,000
酢酸ブチル	123-86-4	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	ErC50	397 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	18 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	44 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEC	196 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEC	23.2 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	繊毛原生動物	実験	40 時間	IC50	356 mg/l
酢酸ブチル	123-86-4	レタス	実験	14 日	EC50	>1,000 mg/kg（乾燥重量）
酸化チタン(IV)	13463-67-7	液状化	実験	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	EC50	>10,000 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
酸化チタン(IV)	13463-67-7	珪藻	実験	72 時間	NOEC	5,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	440 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	7,600 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	5,000 mg/l
結晶性シリカ	14808-60-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	60 mg/l
キシレン	1330-20-7	液状化	推定値	3 時間	NOEC	157 mg/l
キシレン	1330-20-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	4.36 mg/l
キシレン	1330-20-7	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2.6 mg/l
キシレン	1330-20-7	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	3.82 mg/l
キシレン	1330-20-7	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.44 mg/l

キシレン	1330-20-7	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.96 mg/l
キシレン	1330-20-7	ニジマス	実験	56 日	NOEC	>1.3 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
タルク	14807-96-6	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ブチルアルコール	71-36-3	実験 生分解性	19 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	98 DOC除去%	OECD 301E - 修正OECDスクリーニング試験
ブチルアルコール	71-36-3	実験 水生固有生分解性	5 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	93 DOC除去%	OECD 302B Zahn-Wellens/EVPA試験
ブチルアルコール	71-36-3	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	3.4 日（t 1/2）	
クロム酸カルシウム	13765-19-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
CI ピグメントイエロー 53	8007-18-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エチルベンゼン	100-41-4	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	70-80 CO2発生量/理論CO2発生量%	ISO 14593 生分解性試験法（ヘッドスペースCO2試験）
エチルベンゼン	100-41-4	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	4.26 日（t 1/2）	
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	83 %BOD/ThOD	OECD 301F
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	2.3 日（t 1/2）	
酢酸ブチル	123-86-4	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	83 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
酢酸ブチル	123-86-4	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	6.3 日（t 1/2）	
酢酸ブチル	123-86-4	実験 加水分解		加水分解性半減期（pH7）	3.1 年（t 1/2）	
酸化チタン (IV)	13463-67-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
結晶性シリカ	14808-60-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
キシレン	1330-20-7	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	90-98 %BOD/ThOD	OECD 301F
キシレン	1330-20-7	実験 光分解		光分解半減期（空気中）	1.4 日（t 1/2）	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル

タルク	14807-96-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ブチルアルコール	71-36-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
クロム酸カルシウム	13765-19-0	推定値 BCFーその他	40 日	生物濃縮係数	2650	
CI ピグメントイエロー 53	8007-18-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
エチルベンゼン	100-41-4	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	1	
メチルエチルケトン	78-93-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.3	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
メチルイソブチルケトン	108-10-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.9	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
酢酸ブチル	123-86-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.3	OECD 117、log Kow（オクタノール/水分配係数）、高速液体クロマトグラフィー
酸化チタン (IV)	13463-67-7	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	9.6	
結晶性シリカ	14808-60-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
キシレン	1330-20-7	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	25.9	

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： １８６６ 樹脂液

輸送分類（IMO）：3　引火性液体

輸送分類（IATA）：3　引火性液体

容器等級：Ⅱ

国内規制がある場合の規制情報
取り扱い及び保管上の注意の項の記載によるほか、毒劇物取締法等の法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
毒物及び劇物取締法：劇物
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
労働安全衛生法：施行令別表第三第二項および第三項　特定化学物質
化管法：特定第１種指定化学物質
消防法：第四類第一石油類
船舶安全法、航空法：引火性液体類
海洋汚染防止法：環境有害物質
労働安全衛生法：施行令別表第一　危険物
化管法：第１種指定化学物質
労働安全衛生法：令和4年厚生労働省告示第371号　がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
ブチルアルコール	1-ブタノール	該当	該当	該当
ブチルアルコール	ブタノール	該当	該当	該当
クロム酸カルシウム	クロム酸及びクロム酸塩	該当	該当	該当
CI ピグメントイエロー 53	アンチモン及びその化合物（三酸化二アンチモンを除く。）	該当	該当	該当

CI ピグメントイエロー 53	ニッケル及びその化合物	該当	該当	該当
エチルベンゼン	エチルベンゼン	該当	該当	該当
メチルエチルケトン	メチルエチルケトン	該当	該当	該当
メチルイソブチルケトン	メチルイソブチルケトン	該当	該当	該当
酢酸ブチル	酢酸ブチル	該当	該当	該当
酸化チタン(IV)	酸化チタン(IV)	該当	該当	該当
結晶性シリカ	結晶質シリカ	該当	該当	該当
キシレン	キシレン	該当	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
クロム酸カルシウム	六価クロム化合物	88	特定第1種指定化学物質
CI ピグメントイエロー 53	アンチモン及びその化合物	31	第1種指定化学物質
CI ピグメントイエロー 53	ニッケル化合物（ニッケルとして）	309	特定第1種指定化学物質
エチルベンゼン	エチルベンゼン	53	第1種指定化学物質
メチルイソブチルケトン	メチルイソブチルケトン	737	第1種指定化学物質
キシレン	キシレン	80	第1種指定化学物質

毒物及び劇物取締法

成分	法律又は政令名称	毒物及び劇物取締法
クロム酸カルシウム	クロム酸塩類及びこれを含有する製剤	劇物

16. その他の情報

改訂情報
セクション１：供給者名 情報修正.
セクション２：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション８：作業環境許容値 情報修正.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（こ

れらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３Mジャパングループの SDSは日本のウェブサイトから入手できます。